

なぜ男女平等 参画社会は 必要なのでしょう

少子化による労働力人口不足が懸念される中、社会における女性の活躍促進が求められています。しかしその一方で、非正規労働による貧困や、仕事と育児の両立に困難を抱えている人は後を絶ちません。また、高齢化の進行により、家族の介護に携わる人は男女関係なく増えることが予想され、性別による固定的な役割分担意識の見直しが必要とされます。男女平等参画社会の実現には、取り組むべきさまざまな課題があります。市では、これらの課題解決に向けた支援や取り組みを行っています。

女性センターの 名称が変わりました

男女平等参画社会の実現に向けた取り組みの推進活動を行う総合拠点施設として、8月1日より、女性センターは男女平等参画推進センターへ名称を改めました。センターではさまざまな講座やサークル活動、無料法律相談やキャリアアカウンセリングなどの相談窓口、図書資料の貸出しなどを行っています。講座については無料で託児（1歳〜中学生、10人まで）を行います。皆さん、ぜひ気軽にお立ち寄りください。

具体的な実施事業

- 日本女性会議の開催
- 各種講座や出前講座の実施
- 女性団体学習活動援助
- 女性人材バンク
- 若年層向けの市民意識調査 など



▲男女平等参画推進センター

インタビュー

男女平等参画社会の 実現を目指して



男女平等参画課
みやま のりこ
課長 宮嶋 紀子

現代社会において、女性の活躍が求められていますが、仕事も家事も育児も介護も全てをこなすのはとても大変なことです。また、男性だからと強さを求められ、一家の大黒柱としてのつらさを感じている人もいるかもしれません。

男女平等参画社会とは、男女が互いに世代や性別を超えて、自らの個性や能力を十分に発揮し活躍できるように支え合う社会です。

男女格差や長時間労働が無く、個々の意欲と能力が発揮され、家庭生活や地域活動、趣味の時間とのバランスが取れている職場環境。家事や育児、介護をみんなで協力して行い、喜びも苦労も分かち合える明るい家庭生活。個性が尊重され、一人ひとりが認め合い、個性や能力を伸ばす教育環境。みんなが地域活動に参加して、お互いに支え合う温かい地域。これらに

共通するのは、お互いが認め合い支え合うということです。

市民の皆さん誰もが輝ける社会にするために、性別による差別や固定的な役割分担意識を変えていかなければなりません。

しかしながら、今年の3月に実施した男女平等参画に関する市民意識調査では、約7割以上の方が「男性の方が優遇されている」と感じているとの結果でした。この現状を踏まえ、市では今後もさまざまな事業を実施しながら、まち全体の意識改革に取り組んでまいります。

その一つとして来年には日本女性会議がこ小牧市で開催されます。市民一人ひとりが、意識を変えていける、考えていけるそんな環境づくりが、男女平等参画都市を宣言したこのまちで実践できるよう、皆さんと一緒に男女平等参画社会の実現を目指します。